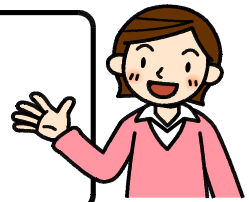


学びをつくる しきしまの子

低学年

まい日のべんきょうは、自分^{じぶん}でたのしくしたり、
わかるようにしたりすることが大切^{たいせつ}です。そのためには、
つぎのようなこと^きに気をつけるといいですね。



1. やすみじかにべんきょうの
よいをしよう。

- トイシ、水のみをすませておこう。
- きょうかしょやノートなど、
べんきょうにつかうものをつくえの
上^きによういしてからあそびにいこう。

2. べんきょうがはじまったら、せきに
つき、じぶんからべんきょうしよう。

- やすみじかんがおわったら、^き気持ち
きりかえて、べんきょうにしゅうちゅう
できるようにしよう。

3. べんきょうのはじまりと
おわりのあいさつを
しっかりしよう。

- 「おねがいします」
- 「ありがとうございました」
- 「れい」をきちんとしよう。



4. いすにきちんと
こしかけ、よいしせいで
べんきょうしよう。



6. ほかの^{ひと}人のはなしは
だまってさいごまできこう。


- ほかの人のはなしがおわって
からはなそう。

5. 先生になまえをよばれたら、
大きな声でへんじをし、
はっきり はなそう。

- みんなにきこえるように。
- はなしかた
 - ・自分の考え「…です。」
 - 「わたしは…と思います。」
 - ・りゆう「…は、…だからです。」
 - ・かくにん「…は、…でいいですか。」
 - ・しつもん「…は、…ですか。」



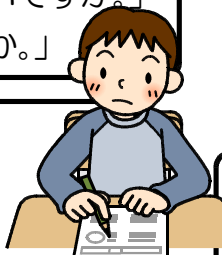
8. がくようひんをそろえよう。

- こいえんぴつ、よくきえる 
- けしゴム、したじきをつかおう。
- がくようひんにはなまえをかこう。
- がくようひんは^{まえ}前の日までに
しっかりそろえるようにしよう。

9. しゅくだいや^{さく}作ひんなどを
出す日^{だひ}をまもろう。

7. だいじなことは、
ノートにしっかりかこう。

- こくばんにかかれたことや
自分^{じぶん}でだいじだとおもうことを、
じかんの中でかけるようにしよう。



10. しゅくだいやおうちでのべんきょう
をしっかりしよう。

- どくしょやべんきょうをあわせて
20分^{ぶん}くらいがめやすです。